

会 議 録

全部記録 要点記録

1 会議名	第5回姫路市立高等学校在り方審議会
2 開催日時	令和4年2月22日（火曜日） 14時30分～15時35分
3 開催場所	姫路市役所北別館 2階 中会議室
4 出席者	（出席者）姫路市立高等学校在り方審議会委員14名 （事務局）教育長、教育次長、教育総務部長、教育企画室長、学校教育部長、 総務課長、学校施設課長、教育企画室主幹、学校指導課長、 人権教育課長
5 傍聴の可否及び傍聴人数	傍聴可、傍聴人11名
6 次第	1 開 会 2 挨 拶 3 議 事 答申案について 4 連絡事項 5 閉 会
7 会議の要点内容	以下のとおり

事務局	<p>1 開会</p> <p>第5回姫路市立高等学校在り方審議会を開会する。</p>
教育長	<p>2 挨拶</p> <p>(教育長挨拶)</p> <p>本日は、姫路市立高等学校在り方審議会に御出席いただき誠に感謝している。</p> <p>平素は、本市の教育行政の推進に多大な御支援をいただいていることを、改めて感謝申し上げます。</p> <p>去る2月16日、兵庫県公立高等学校の推薦入学者選抜が実施され、昨日21日に合格者発表が行われたところである。市立3校の志願者数は募集人数を大きく上回っており、市立3校が子供たちにとって学びたい高等学校であると再認識するとともに、改めて教育委員会として、市立高等学校のさらなる充実に向け、しっかりと取り組んでいかなければならないと考えている。</p> <p>前回は、答申案の全体像をお示しし、御審議いただいたところ、教育の課題や目指す方向性、市立高等学校の考え方等に対する御意見を頂戴した。</p> <p>本日は、前回いただいた御意見を踏まえ、修正を加えた答申案について、さらに御意見をいただき、答申としてまとめていただくことができればと考えている。</p> <p>委員の皆様においては、本日も引き続き、それぞれのお立場から、様々な御意見や御提案をいただきながら活発な審議をお願いできればと考えている。よろしく願い申し上げます。</p>
事務局	<p>会議成立報告</p> <p>(公開可否の決定)</p>
会長	<p>本日の審議会は、異議がなければ公開とするが良いか。(異議なし)</p> <p>異議なしと認めて公開とする。</p>
会長	<p>(第4回会議録の確認)</p> <p>第4回審議会の会議録について修正等の意見はあるか。</p>

委員	12 ページの下から 2 行目について、「かなり学力の高い運動部の生徒がいる。部活動をしたいという理由で本校へ進学したようだ。」と修正してもらいたい。
会長	他に第 4 回審議会の会議録について修正等の意見はあるか。(意見なし) 修正意見を反映させたものを会議録として決定する。
会長	3 議事 答申案について 事務局からの説明を求める。
事務局	資料「これからの姫路市立高等学校の在り方について (答申案)」を用いて説明
会長	内容について、委員の皆様から忌憚のない御意見、御質問等をいただきたい。
事務局	本日御欠席の委員から、事前に御意見をいただいているので、報告する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 再編に当たっては、その準備期間においても、これから入学する生徒や在校生が安心して学校生活を送ることができるよう、十分に配慮してほしい。 ・ どんなに社会が変化しようとも、思いやりや優しい気持ちなど、心を育てていくことが今後必要であると思う。 ・ 生徒や保護者と一番接しているのは教員なので、取組を進める際には現場の教員の意見をよく聞いてほしい。 ・ 今後、具体的な計画を検討されるに当たり、ぜひ取り入れてもらいたい視点を伝えたい。姫路市には、伝統文化やものづくりの文化が根付いている。キャリア教育の 1 つとして、このような地域の企業と連携を行い、体験し、学ぶ取組を進めてほしい。誰と学び、誰と出会うかによって、人の育ちは大きく変わってくるし、学ぶ意欲につながる。 ・ 近年、リベラルアーツ教育が重要視されつつあるが、姫路市には、美術館や歴史博物館、文学館など、様々な芸術関係の施設がある。これからは感性を磨いていかなないと勝負できない時代になっていることから、芸術にふれる教育も積極的に進めた方が良い。 との御意見をいただいている。

委員	<p>4ページの「2 これからの市立高等学校に求めること」については、(1)が教育課程、(2)が周囲との連携や学校の規模、(3)が施設に関わることで、3本の柱立てで非常に分かりやすい構成になっている。前回の審議会において、複数の方が、全国でも姫路にこの学校ありという書きぶりにしてもらいたいとおっしゃっていたと思う。一番の学校とは、学校の大きさや環境でもなく、(1)の「特色ある取組」の部分だと思うので、結びの部分に、もう少し全国的にも突出した学びを行う学校に、ということを書いてももらえると、委員の皆さんがおっしゃっていたことが加わると思う。</p>
会長	<p>姫路は大きな都市であるため、持てる資源を集約して良い学校を作ろうとするのであれば、日本全国の中でも十分特色を放つ存在になり得ると思う。より一層市民に希望が湧いてくる学校になるためには、そのような記述があって良いのでは、ということである。ただその時に、その学校が特定の学力の生徒しか入れない進学校というイメージではなくて、全く新しい特色を持ったような、全国に誇れる高等学校だということを書いてもらいたいという御意見であったと思う。</p>
副会長	<p>一読し、前回の議論がフォローされていると感じた。何を目指して、どういう学校づくりをするのが明確になっている。</p> <p>今、委員がおっしゃったことだが、ある特定の子供たちだけが入れる進学校ではないという部分の表現が少し難しいように思う。全国的に特色を放つような突出した学校ということだけだと、ある一定の学力の子供たちしか入学できないような学校と受け止められてしまうだろう。SDGs や、先ほどお話のあった感性の部分、他にも姫路の資源をうまく生かしながら、全国に誇れるような学校像をどのように出すかということとは、書きぶりに少し工夫がいると思う。</p>
委員	<p>答申案は、これまでの議論を踏襲して書き込まれており、骨格がしっかりしている。あえて申し上げるとすると、5ページの上から3行目に「時代のニーズに対応し」と書いてあるが、STEAM やリベラルアーツなども、将来的にはどうなるか分からない。今の世の中は先が読めず、ニーズは変化をしていくので、時代の流れに沿いながらも、市立高等学校の改編の中で、絶対に揺るがないという根幹の部分を持つという表記が</p>

	<p>並列してあれば良いと思う。</p>
委員	<p>答申案は、これまで我々が議論してきたことを基に、よくまとまっていると思う。また、市立高等学校への愛着や、将来に対する希望や展望みたいなものが読み取れて、本当に素晴らしいものができつつあると思うが、2点ほどお聞きしたい。</p> <p>1点目、2ページの「イ 求められる学びの変化」の「現在の大学進学等を目指すだけのものではなく、生徒自身が20年、30年後のキャリアを意識して」の部分は、どういう姿をイメージして書かれているのか。</p> <p>2点目、これは書かなくても良いと思いつつもあえて申し上げるが、7ページの「(2) 留意事項」中、「ア 生徒及び教職員への配慮」についてだが、新しい学校ができる前の段階でも、市立高等学校が減少すると、教員の過員など人事の問題が出てくると思われる。そういう事態に際して、中学校との連携をより一層進めるとか、県との連携を密にするということの記載を検討してもらえたらと思う。</p>
事務局	<p>20年、30年後のキャリアについては、社会に出て無我夢中で仕事のやり方を覚えて、自分の力でこのように仕事をしていこうと自覚できるような年齢をイメージして書いている。</p>
会長	<p>一言で言うと、高等学校の中でキャリア教育をしっかりとすることだと思う。これまでだと、進路指導の影響もあるかもしれないが、多くの生徒は大学進学や就職など、目先のことにしか目が向いていなかった。それが、人生100年時代で、20年、30年後がはっきりと分からない状態の中、社会で生き抜く力をつけるためには、先の見通しが分からないということをまず自覚させるということだと思う。そのために、例えば、子供たちが将来就く職業が大きく変化していくなどということについて考え、探究型の学びや変化に対応できる力を身に付ける学びなどを市立高等学校で行いたいという意味だと思う。</p> <p>もう1点、中学校との連携や県との調整なども、もう少し具体的に書いたら良いのではないかという点については、また検討してもらえたらと思う。</p> <p>他に御意見、質問等はないか。(意見なし)</p>

<p>会長</p>	<p>それでは、特に御意見はなさそうなので、今いくつかいただいた御意見を加筆・修正することとしたいと思うが、さらにもう一度審議会を開催して、審議が必要ということではなかったように思う。そこで、文言修正や追記について、会長一任ということではよろしければ、事務局に修正してもらい、その修正案について、私が確認することとしたいと思う。そして、その修正したものを答申とし、後日、私が審議会を代表し、教育長に答申をお渡ししたいと思うが、いかがか。(全委員了承)</p> <p>それでは、これで議事を終了し、事務局へお返しする。</p>
<p>教育長</p>	<p>委員の皆様にご感謝申し上げます。審議会は本日で終了となるが、皆様から、これからの姫路市立高等学校へのアドバイスや激励、また、審議会に御参加いただいたの所感など、最後に一言ずつ頂戴できればと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>委員に就任し、色々な立場の方からの意見をお聞きし、勉強になった。また、それと同時に、市立3校への期待が大きいということも実感した。だからこそ、今後、答申を踏まえてしっかりとした計画を立ててもらいたいし、卒業生も含めて、市民が満足できるような高等学校を作っていってほしいと思っている。</p>
<p>委員</p>	<p>県立高等学校に勤める者が意見を言うのはどうかと思ったが、姫路で生まれ育ち、市立3校とも関わり合いながら教員として勤めてきたので、そういった思いで発言をさせてもらった。</p> <p>私が小さい頃に比べると、市町合併により市も大きくなったが、その分、教育行政にかかる費用も非常に多くなっているのではと思う。その中で、選択と集中ということをもとに土台に審議会を設置したという趣旨もよく分かる。今後とも色々大変だと思うが、教育行政の方々には姫路の高等学校が良くなるように、御尽力してもらえればと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>市立3校とも勤めたこともあり、それぞれに思い入れがある。発展的統合ということで寂しい部分もあるが、これから入学してくる中学生やOBの方に、市立3校は素晴らしい学校になったけれども、今後はより素晴らしい学校になると胸を張って言えるように、今後、具体案を出してもらいたいと思う。</p> <p>市立だけでは限界があるので、兵庫県と情報共有をするなど連携を密に行い、どち</p>

委員	<p>らもウィンウィンの関係になるようお願いしたい。</p> <p>審議会に参加させていただき感謝申し上げます。皆様からのお話をお聞きし、市立3校がいかにか皆様から支えていただいているのかを実感した次第である。</p> <p>生徒たちにはこのことをしっかり伝えていくと同時に、今度は君たちがこの姫路市を盛り上げていくのだということも伝えていきたい。また、変化していく時代の流れの中で、色々な意見を取り入れながら一つの方向性を見出していくことが大事だということも子供たちに伝えていきたい。</p>
委員	<p>私としては、姫路市を引っ張っていけるような人材を育成し、生徒や職員が、姫路の市立高等学校に行きたいと思えるような学校にしてもらいたい。そして世界文化遺産である姫路城に負けない学校になることをお願いしたい。</p>
委員	<p>私は、中学校長会を代表してこの場に参加させていただいた。1校を視野にとということなので、教育内容、施設設備ともに中学生が憧れ「こんな学校にぜひ行きたい」、「ぜひこの学校に行って自分の力を伸ばしたい」と思えるような学校を作ってもらいたいと思っている。よろしく願います。</p>
委員	<p>私は、小学校の代表として参加させていただいた。色々な立場の方の御意見をお聞きし、本当に勉強させていただいた。小学生にとって高校生は少し遠い存在ではあるが、答申を周知することも大切なことだと感じた。</p> <p>今、小学校の高学年あたりの子供たちは、心の問題等で難しくなっている。相手のことを想像するエンパシーの力をつけることや自分自身の感性を磨くことは、小学生から中学生、そして高校生へとつながっていくのでとても大事だと感じている。</p> <p>姫路市を担う生徒たちの育成を考えるうえで、この市立3校を1つにし、夢のような高等学校ができることを祈っている。</p>
委員	<p>市立3校PTAの代表としてこの審議会に参加し、とても良い経験をさせていただいた。前回の審議会の翌日に、職場の市立高等学校OBの方から「市立3校はなくなるのか」と言われるなど、大きな注目を浴びている。</p> <p>今の小学生の保護者の方にもできるだけ早く素晴らしい学校ができることを周知</p>

委員

してもらいたい。また、学校の教員ともっと話を詰めて、良い施設、良い学校を作ってもらいたい。

姫路市の小中学校の PTA を代表して出席させていただいた。私の周りにも OB の方は多くおり、この審議会に対しての意見をよく聞いている。

現在、人が集まることができない状況のため、審議会の内容についてお伝えすることが難しい。受験を控えた保護者は情報に敏感だが、小学校低学年に子供がいるような御家庭は、なかなか自分の子供が高校生になる姿が想像できないため、そのような御家庭へどのように発信したら良いかを PTA の活動を通じて考えてはいるが、なかなか難しいというのが現状である。リモートで会議をすることも大切だと考えているが、なかなか画面越しでは、熱量をもった本当の気持ちが伝わらないというジレンマも感じている。コロナが収束して、人と人とが関わり合える状況を作っていく中で、市立 3 校が 1 校になって素晴らしい学校になるということを発信してもらいたいと思う。

委員

私は、おそらく委員の中で最も年配だと思う。姫路市の教育委員を 8 年務め、その後、この審議会に出させていただいているが、これほど変化が大きく価値観が多様化している今の世の中で、我々年配の者が昔感じていた教育観など重きを置いていたものにしがみつけない、新しい未来を開くものに変えていかなければならないということを常に心に留めていた。もし、少し古い視点から発言した場面もあったならば、お許しいただきたい。

5 回の審議会を通じて、この答申をまとめるということは非常に御苦労があったと思う。答申を受けて、具体的に高等学校を作っていくに当たっては、新しい夢のある学校を作るという希望を抱きつつ、積極果敢に今後とも進んで行ってもらいたい。偉そうなことを申し上げたが、この審議会の中で色々なことを学ばせていただき、感謝申し上げます。

委員

今までの審議会を踏まえ、答申としてうまくまとめていただいたと思う。

教育関係の委員の方が多い中で、私は毛色が違う。そういう観点から申し上げるが、今後、立地など様々な議論が必要だということを考えると 1 校になるのは、まだまだ先の話になると思う。4 ページの「2 これからの市立高等学校に求めること」につ

いては、今の市立3校に対して求めることも言うことができると思う。今までも十分やっておられることだとは思いますが、例えば、地元の企業との結びつきの観点から言うと、単位制を導入し、キャリア教育として企業の人たちと関わっていく活動を行うなど、1校になるまでに色々な活動を試すことができると思う。商工会議所だけではなく、姫路には経営者協会があるので、そのような人材育成はお手伝いできると思う。地元の経済界に協力してほしいことがあれば、我々としても最大限努力したいと思っている。今から具体的に取り組んでいくことで、1校になった時にその取組が生きていくと思う。失敗すれば別の方法を考えたら良いので、今のうちから色々チャレンジしていくことをお願いできればと思う。

委員

私は連合兵庫西部地域協議会を代表して参加させていただいた。答申案をよくまとめていただき感謝申し上げますとともに、これからできる新しい市立高等学校に大いに期待をしたいと思う。

これまでの議論にも出てきたが、姫路には祭り文化の他、天台座主を輩出している圓教寺という伝統あるお寺もあるなど、歴史と伝統がある。市立高等学校なので、姫路というまちをしっかりと意識した学校であってほしいと願う。また、子供たちが、新たな時代を創出しようとするイノベーションを常に意識して学べるような学校にしてもらいたい。高等学校で学んだことを生かしてというよりも、学びながら、自ら何かを作り上げていく、そのような意欲を持った生徒を育てていくことができる学校にしてもらいたい。それが、これからの姫路を支えていく若者を輩出することにもつながっていくと思うし、市立高等学校がそのシンボルとなる学校になることを願ってやまない。そういった議論の中に加わらせていただいたことに感謝申し上げます。

副会長

この審議会に参加させていただき、再編・統合が至るところで進むことになっていくといった転機を迎えていると感じた。

市立3校はとても豊かな教育実践が行われており、子供たちや保護者からの満足度が非常に高くなっている。なぜ再編・統合していかないといけないのか、このままで良いではないかとも思うが、少子化の進行や施設設備の老朽化というところで、やはりリノベートを図らないといけないのだと思う。その時に、先ほども申し上げたが、どのように全国的に優位で突出する、或いは特色を放つ学校を作っていくのかが、今後議論になっていくのだろうと思う。

この審議会は、統廃合によって学校がなくなるというような後ろ向きな議論ではなく、新しい時代の中で、限られた資源を投下しながら、新たな学校を作っていくという元気になるような議論になっていたと思う。今後の新しい学校づくりに大いに期待をしたい。

会長

最後に2つ申し上げる。1つ目は、本日、皆さんもおっしゃったように、3校を1校にして資源を集中することで、姫路城のように日本中誰も知らない人はいないような学校を作ってもらいたい。姫路というと、姫路城と並んでこの高等学校が出てくるというような学校にしてもらえればと思うし、おそらくできるのではないかと思う。それは、何よりこれまでの市立3校が市民に支持されてきたということが大きいと思う。3校が駄目になったから、新しい学校を作るということではない。先程入試の話があったが、今でも多くの志願者が集まっているし、学校の雰囲気が良いという意見も多くある。そのような基盤の上に市が資源を集中させて新しい学校を作るということなので十分可能だと思う。欲をいうと、人口が流入することがあっても良いのではという気がする。

2つ目は、学級数が10学級ある学校であることを注目する。1学年10学級を有する県立高等学校はないと思うので、ここは大きな強みになるだろう。普通科だけにするのか専門学科も設けるのかがポイントになると思う。学びのスタイルも、必ずしも全日制だけにする必要はなく、オンライン等を活用し、毎日通学する生徒もいれば、そうでない生徒もいるなど、色々な形が考えられる。つまり、10学級だとある意味ダイバーシティが実現できるということになると思う。学校運営はその分、色々な工夫が必要になってくるが、そこを追求してもらえればと思う。また、現在のいわゆる学力による偏差値の輪切りになるような学校だけはやめてもらいたい。多様な生徒が入学し、まさしく探究型の学びができる。そして、立派に社会で活躍し、姫路市を振興する、そういう子供たちを育成していくことを切に願っている。

教育長

本日、「姫路市立高等学校在り方審議会」の最終の御審議をいただいた。7月30日の諮問以来、第1回審議会から本日の第5回審議会まで、長期間にわたり、御審議賜り、御尽力いただいたことに、教育委員会を代表して、心より御礼申し上げます。

この審議会においては、少子化の進行や施設の老朽化などの消極的課題の解決だけではなく、本市の市立高等学校の役割をしっかりと踏まえながら、本市のさらなる発

展を目指して積極的な議論を行っていただいた。委員の皆様には、本市の市立高等学校が新たなステージに進むための励ましを、数多くいただいたように感じている。

今後、Society5.0時代として社会の在り方そのものが大きく変わり、多様な視点や価値観を共有しながら、社会の課題に主体的に取り組むための学びが求められていく。今回の審議会での議論を、市立高等学校のステップアップの機会として、新たな教育課題に対応しながら、子供たちが学びたいことを学べる学校づくりを進めていく。また、本市の市立高等学校が、市民の皆様に愛される学校として、本市のさらなる魅力発信に貢献できるよう、努めていく。

本日をもって、審議会は終了となるが、会長、副会長をはじめ、委員の皆様には、たくさんの貴重な御意見を頂戴し、感謝申し上げます。本日の御意見を踏まえて修正した答申をいただいた後、教育委員会として具体的な計画を策定していく所存である。

委員の皆様には審議していただいたことが、10年後、20年後にあの時議論して良かったと思っただけのように頑張っていくので、今後とも、本市の高等学校教育の充実に向けて、一層のお力添え、御指導をよろしくお願い申し上げます。

4 連絡事項

2点連絡させていただく。

1点目、今後の予定だが、先ほど会長からお話しいただいたように、本日の御意見を基に修正を行い、後日、会長から答申をいただきたいと考えている。その際には皆様へ答申の写しをお届けする。

2点目、本日の会議録については、近日中に事務局で会議録案を作成し、委員の皆様には郵送するので、内容の確認をお願いしたい。詳細については郵送する文書でお知らせする。

5 閉会

以上で姫路市立高等学校在り方審議会を終了する。

事務局

事務局